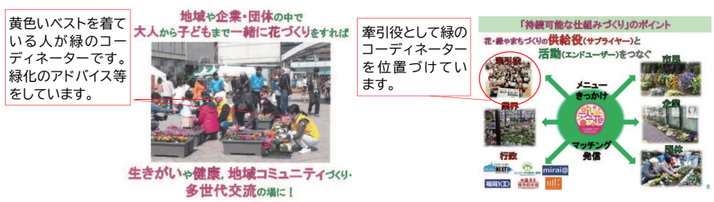
市民による公共空間の緑化推進　　福岡市緑のコーディネーター

CLA 賞　優秀賞（マネジメント部門）受賞

緑のコーディネーターとは、、、

平成 17（2005）年の「第 22 回全国都市緑化ふくおかフェア」の運営を支える市民ボランティアを起源とし、フェア後も、ふくおかの花・みどりのまちづくりを支援してもらうよう、市長認定の資格として創設されました。



緑のコーディネーター養成講座について

緑のコーディネーターを養成する講座は、全 10 回で構成します。本講座は、花植えやアレンジメント，育苗などの内容ではなく、緑化活動に必要な仲間づくりや組織運営、コミュニケーションなどの知識や技術を学びます。

講座は、硬くなりがちな研修を楽しくやりがいのあるものとしていくため、ワークショップを中心とした運営と、テーマに即した専門化及び実践経験豊富な先輩緑のコーディネーターを招き、独創性と先進性のあるものとしています。特に、４回目以降の実践編では、活動場所の地権者との交渉で難航したり、花苗の手配に奔走したりと、市民活動の現場（第 8 回）を提供しています。失敗したことはそのまま発表してもらい、ここでの経験が市民活動の意義と内容を体感するポイントとなっています。

導入編

1. 緑のコーディネーターってなんだ？
2. ようこそ先輩！緑の活動いろいろ
3. コミュニケーションを学ぼう

実践編

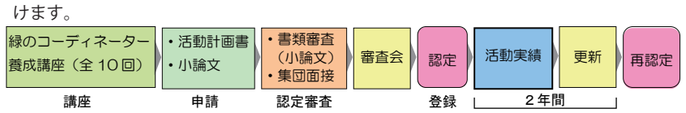
4. 市民緑化活動ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾄ企画（アイデア出し）
5. 市民緑化活動ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾄ企画（条件整理）
6. 市民緑化活動ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾄ企画（ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ作成）
7. 市民緑化活動ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾄ実践（ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ決定）
8. 市民緑化活動ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾄ実践

内省編

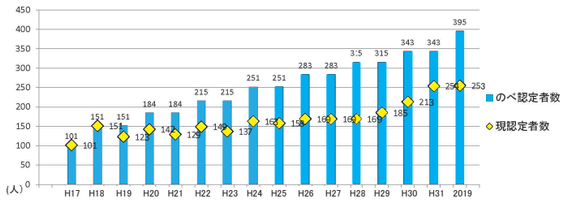
9. 実践の振り返り
10. 養成講座総括

＜資格の認定方法＞

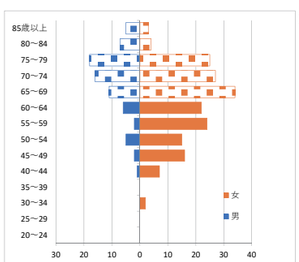
講座への出席を果たすことで認定審査への応募資格を得ます。受講生は、活動計画書と小論文の提出、認定審査（小論文･面接等）を経て、市長の認定を受け、緑のコーディネーターとして登録されます。尚、更新制度により、実績のある人が再認定を受けます。



緑のコーディネーターの現状と課題 ※緑コと称す。



▲緑のコーディネーター認定者数の推移



▲緑のコーディネーターの年齢構成

○登録者の推移

- １期生は 101 名です。
- 融年 30 ～ 50 名を認定し、のべ 395 名が緑コとなりました。
- 更新して現在も活躍する緑コは 253 名です。

○緑コの属性、活動について

- 平均年齢が 65.7 歳で全体的に高齢です。
- 男性が圧倒的に少なく、特に 50 歳以下が少ないです。

＜課題＞

- 比較的若い年齢層の入会を募ること
- 緑コ不在の校区、または活動団体がない校区への緑コ情報の発信及び勧誘を推進・強化すること
- 様々なスキルアップ講座を継続、強化すること
- 様々な手法を用いて知名度アップを図ること
- 様々な分野との意見交換の場を設け、連携力アップを図ること

緑のコーディネーターの活性化方策の検討

緑コの活性化を活性化方策を検討しました。

＜養成講座受講生拡大方策の検討＞

①スキルアップ

緑コ同士が育ち合い、企業、学校など様々な専門分野と連携することによって多方面における技術や知識を向上させます。

②知名度アップ

緑コの活動が多くの人の目にとまることによって PR につながり、関わる人を増やします。

③連携力アップ

市民を始め異業種の人との交流を深め、様々な情報を交換し、活動の場の拡大につなげます。

④緑化施策連携アップ

一人一花運動や花・緑に関する施策に貢献する人や企業、団体を増やします。

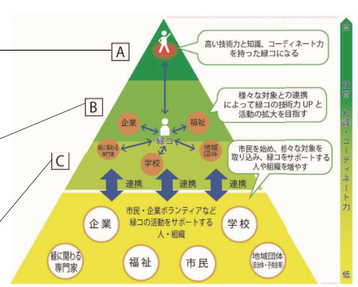
＜緑のコーディネーターの活性化イメージ＞

緑コの活性化及び受講生の増加を図るために、緑コ自身の技術、知識、コーディネート力等のスキルアップと、緑コの活動をサポートする人や組織のすそ野を広げ、市民ボランティアを拡大していきます。

A：全体を統括する緑コ
高い技術力と幅広い知識、コーディネート能力を持ち、仲間を指導する力を備えています。

B：活動の中心となる緑コ
講座の講師や、花壇づくり等を実践しています。企画力、活動の運営能力等の全体をコーディネートする技術の向上が望まれます。

C：個人的な活動が中心の緑コ
市民や緑コと共働し、活動していく技術の習得が望まれます。



＜緑コの活性化を図るため、養成講座受講生の拡大方策を検討しました。

①参加しやすい時間帯の開催

夜間コースにのみ開催していた講座を、夜間コースと午前コースをそれぞれ全 10 回で開催

②多様な情報発信ツールの活用

チラシや SNS、一人一花に関わる多くの情報誌等を利用

③緑コを知ってもらう機会の拡大

「一人一花スプリングフェス」「一人一花サミット」等のイベント等の活用

④植物園、拠点施設等の活用

植物園内で緑コや養成講座の PR を積極的に推進する

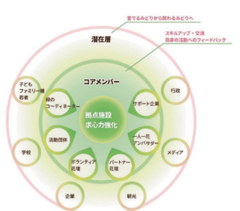
一人一花スプリングフェス
花壇コンクール

一人一花サミット
体験講座

植物園

福岡市独自のみどりの人材バンク

緑のコーディネーター制度は緑化活動のリーダーとなる人材を市が養成・認定する、いわば「みどりの人材バンク」で、市民ボランティアなどによる花と緑のまちづくりを応援する仕組みです。認定された緑コは、「緑のまちづくり協会」に登録され、そのリストは協会ホームページなどで検索することができます。

活動の拠点となる場づくり

緑のまちづくり協会は、福岡市内の都市緑化のさらなる推進を図るため、福岡市動植物園に花・緑づくりの活動の拠点となる施設、基本的な方向性をまとめ、発表しました（令和 3 年 7 月 15 日発表）。一人一花事業に関わる人・情報の交流拠点であり、緑コを中心とする共働・共創のまちづくりの拠点となることが期待されます。